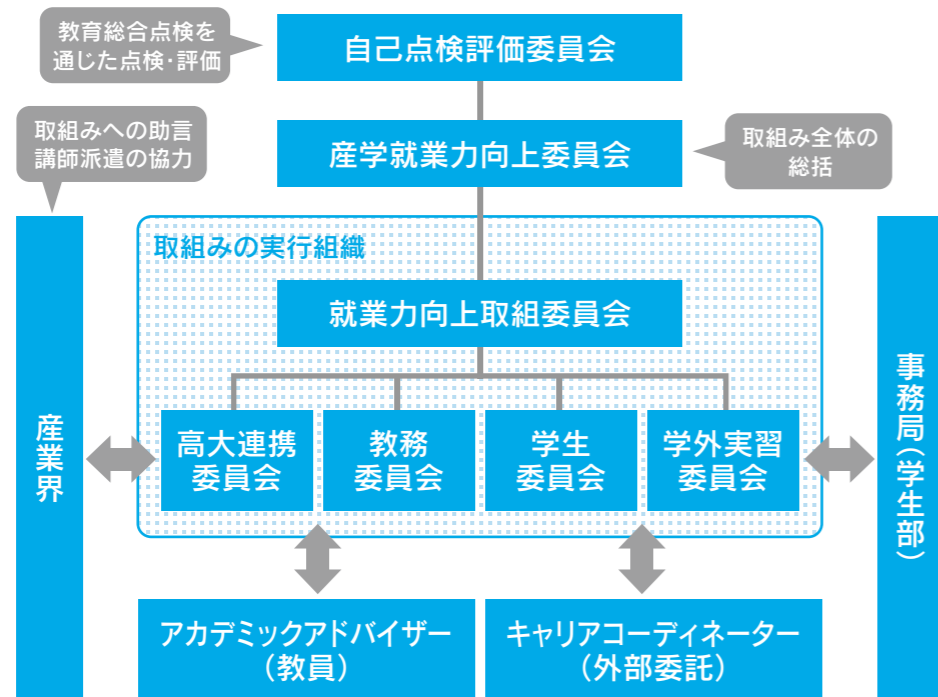


取組みの実施体制

企業担当者と学内専任教員の協働による「産学就業力向上委員会」の下、関係委員会が横断的に参画する「就業力向上取組委員会」が主たる実行組織として取組みを推進します。実施に当たっては産業界からの協力を仰ぎながら、全教員の積極的な取組みを前提に、キャリアコーディネーター・事務局とも緊密に連携しながら一体的に推進します。

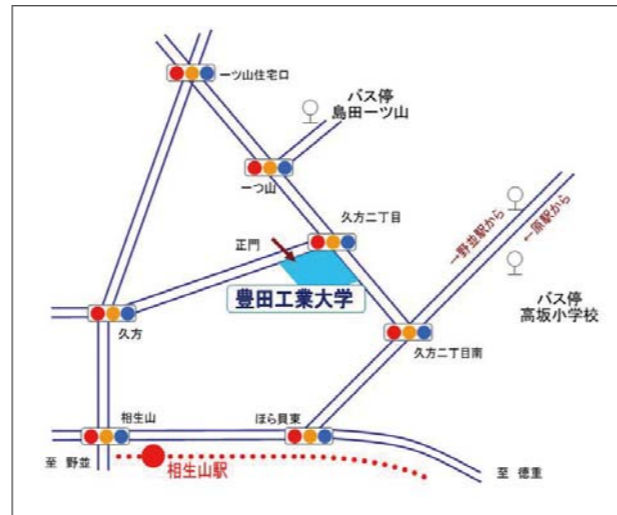
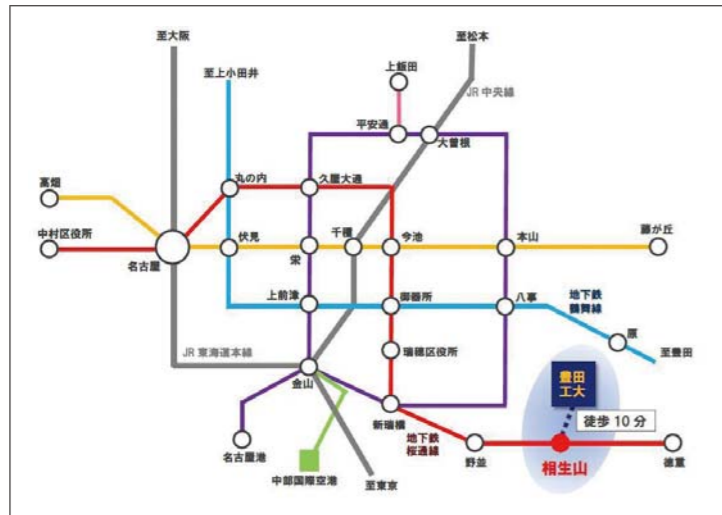
体制図



平成22年度「大学生の就業力育成支援事業」

企業と創る 自立型人材育成プログラム

ACCESS ※地下鉄桜通線相生山駅下車 徒歩10分



学校法人トヨタ学園
豊田工業大学
TOYOTA TECHNOLOGICAL INSTITUTE

〒468-8511 名古屋市天白区久方二丁目12-1
TEL 052-802-1111 FAX 052-809-1721
<http://www.toyota-ti.ac.jp>



学校法人トヨタ学園
豊田工業大学
TOYOTA TECHNOLOGICAL INSTITUTE



3つの取組みを通じて自立型人材を育てる。

本学が考える自立型人材とは

「産業人として自立できる総合的基礎力を備えた人材」を意味します。

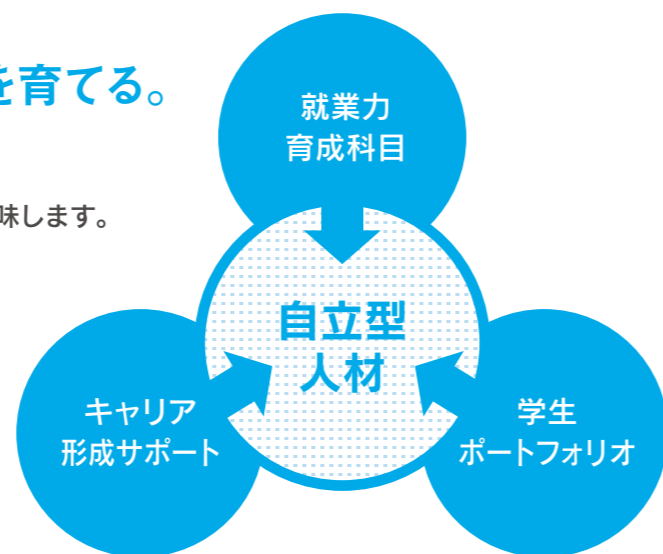
産業界から求められている社会人としての人間力に加え、

「技術者・研究者」として活躍できる素養としての

基礎学力と応用力を(就業力育成科目)

(キャリア形成サポート)(学生ポートフォリオ)の

取組みを通じて育成していきます。



ご挨拶



学長
榎 裕之

大学生の就業力育成のための 新プログラムについて

大学教育では、よき人生を送るための豊かな人間性や知性を育むとともに、社会的な自立のために、職業人としての基礎力、「就業力」を身に付けさせる必要があります。

本学では、語学や一般教養教育を通じ、人間観や世界観の構築と対話能力の育成を図るとともに、工学系の幅広い基礎力と深い専門能力を、体系的な座学および実験・実習を通じて育成してきました。この結果、本学卒業生は高い評価を受け、建学以来、就職率100%を堅持しています。しかし、近年、解くべき技術課題の高度化や国際競争の激化が進むなど、技術者と産業を取巻く状況は一変しており、本学も教育の質を一段と高め、学生の就業力を強めることが急務となっています。

そこで、本学では、文部科学省の「大学生の就業力育成支援事業」の助成を受け、「企業と創る自立型人材育成」プログラムを2010年に始めました。特に、新入生の学習意欲を高めるために、基礎的学習と現代技術の繋がりを把握させる講義を企業や卒業生の協力を得て開くとともに、学生の創造性を養うため、特定課題の取組み企画から実行・点検までを実践的に学ぶ「創造性開発セミナー」を実施します。また、個々の学生に十分な就業力を磨かせるために、指導教員やキャリアコーディネーターの力量と役割を高めるとともに、学生が自己成長を図るための自立支援システムを整備・運用します。

この取組みにより学生の意欲と能力を高め、時代を拓く人材の育成を図ります。



事業推進責任者
教授 齋藤 和也

企業・卒業生との密な連携を基軸にした 人間力と学力を育む実践的教育

「大学教育を通して、社会でいきいきと活躍できる若者を、如何に育成するのか。」日本の産業界が置かれている厳しい現実を反映して、この重要な課題が、大きく取り上げられる時代となりました。本学では、開学以来長年にわたって企業と協力し、学生の就業力を高める努力をしてまいりました。その結果として、毎年就職率100%、就職後3年以内の離職率3%という水準を維持し続けてきましたが、本学の就業力教育にも大きな変革が迫られる状況となりつつあります。

このような状況の下で、採択された本プログラムでは、本学がこれまで精力的に推進してきた教育プログラムを発展させるとともに、企業・卒業生からの刺激を積極的に導入した新しいプログラムを付加し、「産業人として自立できる総合的基礎力を具備した卒業生を創生すること」に取組みます。また、取組みにあたっては、企業の担当者と本学教職員から構成される「産学就業力向上委員会」を設置して、大学が育てるべき「大学生の就業力とは何か」ということから問い直し、プログラムの改善・点検・評価を行います。

教職員一同、全力をあげて本プログラムの遂行に当たる所存です。皆様には、ますますのご支援を賜りたくお願い申し上げます。

プログラム概要

本学では開学以来、初年次全寮制教育と徹底した少人数制授業などの特色ある教育を実施し、「就職率100%」を保持し続けてきました。しかし長引く不況などの社会環境や今日の厳しい雇用情勢により、学生が目指す第一志望企業への就職率が低下する等、本学における就職環境も厳しさを増しています。そこで、入学時より新たに開設する授業科目を通じた教育、キャリアコーディネーター等による学生・教員に対する支援、情報システムを活用した学生自身によるキャリア形成管理などの活動をとって就業力の育成を図ります。

達成目標

本取組みでは学生に強い自立力、工学勉強への強い意識付け、基礎学力の総合的応用力を付与させ、産業人として自立できる総合基礎力を具備した卒業生を生み出すことを達成目標とします。具体的には、定性的目標として就業力達成度評価、定量的目標として第一志望企業への就職率等を指標とします。



取組み内容について

就業力を高めるカリキュラムの展開 (就業力育成科目)

本取組みは、「産業人としての自立に必要な工学基礎力と工学意欲力を含ませ持った、総合的基礎力を育成すること」をねらいとします。工学に対する意欲と学修の動機付け、さらには学んだことを総合的に応用していくことのできる実践力を身につけるよう教員と学生とのきめ細やかなコンタクトを通じて卒業後の進路を自身で開拓できるように働きかけるものです。



キャリア教育実践に向けたFD活動 (キャリア形成サポート)

学生へのキャリア教育に関する教員の能力向上を支援します。具体的には、教員が実施するオフィスワーカー(学生との面談)に対する支援、キャリア教育に関する講演会のコーディネート等を行います。



学生生活の振り返りを支援 (学生ポートフォリオ)

学生ポートフォリオの活用を通じて、総合的な就業力を備えた、自立型人材の育成を図ります。学習生活における様々な活動について記録し、学生自身がそれを振り返り、また教員と情報共有をすることができる、キャリア形成管理ツールとして活用します。



就業力育成科目の開講

工学スタートアップセミナー	研究紹介、「産業技術記念館」見学を通じた工学導入教育
学外実習 事前特別講義 ★	学外実習参加にあたっての心構え、安全の理解
学外実習 報告会 ★	実習での経験・学びを学生相互が共有し、後学に生かす
現代工学概論 ★	企業における「モノづくり」のあり方を具体的な事例で学ぶ
トヨタ生産方式概論 ★	「トヨタ生産方式」を通じてものの作り方やそのしくみを学ぶ
創造性開発セミナー	モノづくりの企画・設計・製作・評価をチームで実践する
技術開発特論 ★	論文作成・特許検索法・プレゼンテーション技術に関する講義・演習

★の科目は企業との連携により開講します。